国立病院機構　熊本医療センター　腎臓内科

　　　　　　　　　 eGFRスロープ(Long Term eGFR Plot)相談窓口について　　**ご説明とご承諾書**

慢性腎臓病（CKD）はたくさんの治療薬が開発され、治療ができる時代になっています。透析などの深刻な腎機能障害をさけるため、腎機能(eGFR)がなるべく保たれている段階から、腎機能の低下スピード(eGFRスロープ)を考慮して対策することが必要です。そのために定期的な採血による腎機能の評価(eGFR)が必要です。現状評価(eGFR)と、経時的評価(eGFRスロープ)をあわせることで、今後の危険性や治療強化の必要性が把握できます。(図2)

図１のように短期間でのeGFRの評価では、変動が大きいために経時的なeGFRの低下を把握しづらいのですが、図2のように得られるすべてのeGFRの長期推移を一括表示したLTEP (Long Term eGFR Plot)を利用することで、変動が大きくても長期的に推移を俯瞰的に観察することができ、経時的な腎機能低下(eGFRスロープ)を確実に拾い上げることができます。

熊本医療センター腎臓内科はかかりつけ医の先生と一緒にこのスロープ評価をおこなうことで、患者さんの治療強化の必要性をひろいあげ、より良い将来につながるようにお手伝いしていくために、eGFRスロープ(LTEP)相談窓口を設けました。かかりつけの先生から、患者さんのデータを当院腎臓内科に送付いただき、解析してかかりつけの先生にご回答するものです。

その際には、個人情報、データを取り扱うため、当院にIDを作成いたします。（すでにお持ちの際はお知らせください。）解析結果はあくまで現時点での予測ですので、今後の経過で大きく変わってきます。すべてを保証するものではありません。結果によっては、かかりつけ医の先生とご相談いただき、受診が必要になることがあります。

上記のことを理解いたしました。

　　　　年　　　月　　　日

氏名

（本人のサインが難しいとき）

代筆者

患者様に一部お渡しください。かかりつけ医の先生で一部保管ください。

熊本医療センター腎臓内科に『相談申込書』と一緒にe-mailもしくはFAX・郵送ください。